

2011年度「都市経済学」試験採点結果

配点は、問題1の1-1、1-2、1-3、1-4に、それぞれ、20、15、15、10点としました。

1-1と1-2を解けた人は多かったが、これらに高い配点を与えたので、合格率は例年より高くなりました。

効用関数で z の単位を円にするか、万円にするかで異なった答えになるが、手続きが正しければ満点を与えました。通勤費についても、往復ということで2倍とした者がいましたが、同様に満点です。この点で混乱を招いたことは、出題が不適切だったと思います。上記のように採点でカバーしているので、不利益が出ていないと思います。

問題2については、外部効果と関係のないことを書いた者が少なくなかった。なかには、良く書いている解答もあったが、すべて0点としました。一方、外部効果に関する例を正しく挙げることができれば、20点、それが資源配分に及ぼす効果まで書ければ30点、外部効果による損失を解消する政策手段まで書けば、40点を与えました。

最後の授業では、多くのコメント、ご意見をありがとうございました。内容については、興味深いと感じてもらえた人が多かったようですが、いくつか指摘がありました。特に板書については、複数の方から「見づらい」「記号の定義を」「図の説明を丁寧に」などの指摘がありました。また練習問題を加えてほしいとのリクエストもありました。今後の改善に生かしたいと思います。

採点結果

	全体	3回生	4回生
平均点	59.88	64.08	55.40
合格率	69.23	80.00	58.18

成績分布

